



単一組合の力を 発揮し闘おう

本部
(総)支部

全体で意思統一

9月29日(日)9時30分より、第82回定期大会が、ベルサール飯田橋駅前ホールで行われました。
2013賃金確定闘争、各区・一組の予算・人員闘争、再任用制度の各区・一組での確立、強まる民間委託攻撃との闘い、新たな職員採用を求める闘い等、諸課題に対し、単組の力を発揮して、本部(総)支部が一丸となり闘う意思を固め合う大会となりました。

厳寒の時代を乗り切ろう

大会議長には、板橋工場支部の小林代議員、新宿支部の塚原代議員を選出し、団結が深まる活発な議論をとのあいさつを受け、開会しました。

冒頭、吉田中央執行委員長が、台風や竜巻による災害に見舞われた被災者・組合員へのお見舞いの気持ちを表しました。

安倍政権が大企業の減税で賃金上がる幻想を財界といっしょになって広め、一部の企業に富を集中させるやり方に怒りを訴えま

東京清掃労働組合
千代田区飯田橋3-9-3
TEL (3237) 9995
1部20円
編集責任者 三野崎 優
教宣部 野崎 優

わが組合の綱領

- 一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。
- 二、われわれは労働者の社会的意義を顕揚し、都区政の徹底的民主化を期す。
- 三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界平和に貢献せんことを期す。

第82回定期 大会特集号

させ新規採用獲得に奮闘し、現業労働者の厳寒の時代が予測される今、スクラムを組んで乗り切ろう、と提起しました。

その後多くの来賓からごあいさつを受けました。

自治労東京本部の宮本委員長は、参議院選挙で組織内のあいはらくみこ当選への謝意を述べ、改憲を許さず戦争への道をくい止める闘いを訴えました。アベ

譲れない ふれあい・災害対策

大阪市従業員労働組合の古川副委員長は、橋本市長に対しあきらめずに闘う決意を述べられました。

「改革」の御旗の下、労使協議のあり方が強引に変

更された。職員基本条例を制定し、厳しい懲戒処分を下せるようにした。政策に関する意見交換を組合とは

するなど当局内部を締め上げていく。清掃の非公務員化については、受け皿会社が未定の状況でも、できる

ノミクスに対抗し、雇用確保と賃下げ阻止を実現し、内需を拡大する。臨時的給与削減を地方に波及させる国に対し、都区も三多摩も阻止している。安心して働けるよう闘おうと激励されました。

自治労中央本部から、牧野現業局長が来られ、現業活性化で職場の生き残りを

かけてきた。人事院は技能労務系職場の民間委託と給与水準の見直しに言及した。現業労働者の労働2権を活かし闘うと訴えられました。

と交渉前にマスコミに公表している。現在、公共関係が必要ふれあいや災害対策は譲れないとの力強いあいさつでした。

特区連佐藤書記長は、8月の人事院勧告は、雇用と年金の接続について現行再任用を踏まえるとし、賃金水準は判断せず先送りした。区長会も、現行制度を

踏まえ、フルタイムを基本に短時間を選択できる制度を考えている。ともに闘おうと呼びかけました。

全労協の中岡事務局長は、公務職場の破壊で、労働者はコストとしか見られず、健康を壊され、事故が多発している。公務労働へ

単組の力を発揮し闘おう

次に、染書記長による2013年度一般経過報告が行われ、2012年人事委員

会勧告及び賃金確定に関する交渉や闘争を中心に報告しました。2013年の年明けには退職手当削減・

制度改革反対闘争が取り組まれました。高齢期雇用では、区長会の基本的考え方

がこの夏示され、現行制度を基本に、各区・一組の交渉が大詰めを迎えています。

事業関係の交渉では、各区の作業計画策定の基本的考え方から本部に提

の攻撃と闘い、権利は譲れない、差別を許さない取り組みの必要性を語りました。

最後に、退職者会の北條会長は、労働者が苦しまれているのに反し、現在の政治の流れはどうか。自分は小学生のときに戦争で、悪夢だった。平和憲法を何としても守るとあいさつを結ばれました。

車付雇上拡大に歯止めを

昼食休憩後経過報告に対する質疑・答弁に移りました。

車付雇上の拡大に関する危険と対応のあり方で、北区・一組の交渉を進める観点から、北支部の花島代議員、江戸川工場支部の中里

代議員が質問しました。



▲大会議長団の小林代議員と塚原代議員

岩田代議員は、大田工場の直営を守れなかった経過と本部への期待が述べられました。

専従役員役割と単組内の任務、組織財政議論では運動をどう作るのかだと、北支部の花島代議員から意見が出されました。一組各支部の代議員が出した組織づくりの課題は、受け止め

新たな仲間を労働組合へ

2014年度運動方針(案)の大和田副委員長による提案と質疑応答となりました。

江戸川工場支部の中里代議員と板橋東支部の石川代議員は、行政職の組織化の課題や現業職の各区・一組新規採用者の組織化に関する意見でした。

工場労働者の被曝に対し健康診断の実施を求めているとの意見が、中里代議員から出されました。事業関係統一交渉の交渉

項目追加に関わる取り組みを求める発言が、中野支部の藤田代議員からありました。車付雇上や都市清掃、高齢期雇用の方針に関する意見が、北支部の花島代議員から出されました。組織強化に向け当該と相談し、希望が持てるビジョンを示し、新たな仲間を迎え入れようとの大和田副委員長は、運動方針は全体の拍手で採択されました。(運動方針に関する質疑や答弁は、5・6面参照)

希望が持てる組織をつくる

●大会あいさつ

中央執行委員長

吉田 壽

第82回定期大会に出席いただいた組合員の皆さん、

ありがとうございます。

私どもの定期大会に駆けつけていただきましたご来賓の皆様には、組織を代表し重ねて心より御礼を申し上げます。

元委員長の栗田さん、大久保さん、退職者会元会長の小泉さんが他界されました。東京清掃の組織の強化と事業の確立に向けて永きに渡り貢献していただきました。退職後も東京清掃と清掃事業の今後を気遣っていただきました。ご冥福をお祈り申し上げます。

市民生活の環境衛生の維持と確保に、日常業務に従事されている仲間の皆さんに敬意を表します。台風や竜巻の発生により被災された組合員、親族、友人の皆さんに心からお見舞い申し上げます。

大会開催にあたり中央執行委員会を代表し、あいさつをさせていただきます。

元委員長の栗田さん、大久保さん、退職者会元会長の小泉さんが他界されました。東京清掃の組織の強化と事業の確立に向けて永きに渡り貢献していただきました。退職後も東京清掃と清掃事業の今後を気遣っていただきました。ご冥福をお祈り申し上げます。

市民生活の環境衛生の維持と確保に、日常業務に従事されている仲間の皆さんに敬意を表します。台風や竜巻の発生により被災された組合員、親族、友人の皆さんに心からお見舞い申し上げます。

法人税減税で賃上げ・景気回復
そんな幻想にだまされない

安倍政権は、7月の参議院選挙で圧倒的多数の議席を確保しました。2016年夏の選挙までの長期政権を見据え、憲法改正や安全保障政策を戦略的に進めています。デフレ脱却と経済回復に力をいれ、デフレ脱却の鍵を握る労働者の賃金引上げにも政府の関与を強



演壇

東日本大震災から、2年半が経過しました。復興再生が順調に進んでいるとはいえませんが、政府の復興予算

が復興とは関係のない事業に流用されていた事実が明らかになり、国民から非難を浴びたばかりです。にもかかわらず、東日本大震災の復興特別法人税を前倒して廃止するとしています。

仮設住宅で暮らし、元の生活にいつ戻れるかわからない、復旧・復興がなかなか進まない不安に苦悩されている被災者に、更なる不安と怒りを強いるものです。企業の7割が累積赤字をたたにしているところでありま

抱えて法人税を払っているに流用されていた事実が明らかになり、国民から非難を浴びたばかりです。にもかかわらず、東日本大震災の復興特別法人税を前倒して廃止するとしています。

仮設住宅で暮らし、元の生活にいつ戻れるかわからない、復旧・復興がなかなか進まない不安に苦悩されている被災者に、更なる不安と怒りを強いるものです。企業の7割が累積赤字をたたにしているところでありま

抱えて法人税を払っているに流用されていた事実が明らかになり、国民から非難を浴びたばかりです。にもかかわらず、東日本大震災の復興特別法人税を前倒して廃止するとしています。

仮設住宅で暮らし、元の生活にいつ戻れるかわからない、復旧・復興がなかなか進まない不安に苦悩されている被災者に、更なる不安と怒りを強いるものです。企業の7割が累積赤字をたたにしているところでありま

大企業や自民党のやり放題の
流れを止める

来年4月8%、2015年10月10%にするという消費税増税法案は、年金や医療、介護などの社会保障制度を維持・安定させる目的で制定されました。

しかし、実際は、生活保護費の引下げや医療費負担等、国民に給付の抑制や負担増を強いるものになっています。

公共事業中心に5兆円規模の経済対策を行うとしています。これも大手企業に利益をもたらし、仕事を請け負う中小零細はさらに厳しい経営を強いられます。

ブラック企業から労働者を守るどころか、解雇しやすい限定正社員など労働法制

抱えて法人税を払っているに流用されていた事実が明らかになり、国民から非難を浴びたばかりです。にもかかわらず、東日本大震災の復興特別法人税を前倒して廃止するとしています。

仮設住宅で暮らし、元の生活にいつ戻れるかわからない、復旧・復興がなかなか進まない不安に苦悩されている被災者に、更なる不安と怒りを強いるものです。企業の7割が累積赤字をたたにしているところでありま



▲退職者会北條会長
平和憲法を何としても守る

事故の収束もなく誰も責任を問われない中で、原発の

再稼動を許してはなりません。15万人が避難生活を送っている状況にあり、放射能汚染水の漏出問題も被害が拡大しています。脱原発の取り組みを多くの市民・労働者と連帯し取り組んでいきます。

自民党政府と大企業がタッグを組み、やり放題となっていく流れを止めなければなりません。

再稼動を許してはなりません。15万人が避難生活を送っている状況にあり、放射能汚染水の漏出問題も被害が拡大しています。脱原発の取り組みを多くの市民・労働者と連帯し取り組んでいきます。

前向きな議論を進め 秋の闘いに全力で結集しよう

職場の課題ですが、清掃事業の民間委託、退職不補償も全国的に攻撃が強まっています。全国の清掃労働者は、直営の確保と新規採用をどう勝ち取るか悩み、公共サービスとしての清掃事業の確立に向けて奮闘しています。

23区では、財政難や民でできるものは民間へと攻撃され、車付雇上や臨時、非常勤、派遣等非正規労働者の活用が拡大されています。

低賃金、不安全作業、保護具の不備、労働者の異動など、本来の自治体業務の職務専念義務を果たせない労働条件で働かされています。

結果として、分別の不徹底など市民に対する公平な公共サービスの提供に影響

非正規の拡大に歯止め

新規採用獲得に全力を

第82回定期大会

東京清掃労働組合

一般経過報告に対する質疑応答

●北支部 花島代議員

専従役員は 内部の課題に集中を



車付雇上について、昨年中央委員会に対処方針が出された。意見交換が行われているようだが、すでに導入から5〜6年経っている。意見交換会ではまったく足りない。北でも導入を考えなければいけない状況になっている。都政新報に「違法だ」と意見広告を出した経過もあるが、対処方針を示して以降、この間行ってきたことと今後の運動についてお聞かせいただきたい。

高年齢雇用問題、フルタイム再任用の賃金について本部のスタンスをお聞かせいただきたい。北では、1・2級でしか任用しないという話も出されている、できれば統一交渉で仕切りをつけてもらいたい。

区間交流の清掃特例について、平成28年以降は再度協議と記憶している。今後の対応をお聞かせいただきたい。

工場支部について、「二組」があるのみで東京清掃の支部がないという話を聞いたことがあるが、状況はどうなのか。一組総支部と本部との連携で支部を確立するべきだ。

工場支部について、「二組」があるのみで東京清掃の支部がないという話を聞いたことがあるが、状況はどうなのか。一組総支部と本部との連携で支部を確立するべきだ。

●足立支部 石田代議員

車付雇上に 具体的取り組みを



車付雇上の対処方針では、実態調査や課題の整理など9点にわたって具体的な取り組みが挙げられている。とりわけ、「拡大を止める、新規採用へつなげる、公契約条例等による労働条件の確保」があるが、足立では新規採用もなく、拡大も止めるに至っていない。公契約条例制定にむけては動いているが、清掃職場における官製ワーキングプアの解消にも繋がらないものだ。昨年10月から今年2月の取り組み予定が示されている。

いたることをお願いし、えささせていただきます。支部を代表してのお礼に代わりたい。あらためてこの問題について、何を取り組んだのか、何が課題なのか、どう取り組むのか、具体的に明確な答弁を求める。また、曜日別配車を含めて、各区での車付雇上の導入状況について把握しているのか。

一組総支部とは決裂、最後に委員長が入り収めることとなったが、一組総支部組合員からみると一組当局は信用できない。夢も希望もない。本部が当局と意見交換などを密にして、この約束を成果として結実させていたいただきたい。このまま推移すると人員が足りない、また委託だと言われかねない。

●江東支部 木村代議員

残された家族を カンパで激励



専従役員の役割について、組織集会のなかでも都市清掃や全労協の必要性について意見が出されたと聞いているが、委員長と書記長が二人揃って都市清掃の会議に行ってしまうのはどうなのか。身の丈にあった運動を」という意見も踏まえて東京清掃内部のことに集中して欲しい。



く。皆様から多大なご協力をいただき、残されたご家族も元気に暮らすことができている。支部ではこの間30代、40代の若い組合員が亡くなっており、非常に悲しい。皆様も体にはご自愛

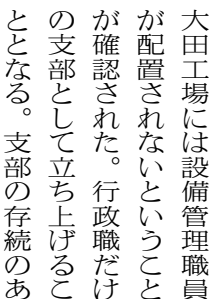
●一組本庁支部 岩田代議員

本部は一組当局と密に意見交換を

一組本庁には300人程度の職員がいるが、組織化できていないのが実態だ。ほとんどが行政職となっており組織率がどんどん落ち

●江戸川工場支部 中里代議員

再任用 短時間強制に危惧が



先日の申し入れの中で、大田工場には設備管理職員が配置されないということが確認された。行政職だけの支部として立ち上げる点となる。支部の存続のあり方を本部としてどう考えるのか。

雇用と年金の接続について、フルタイム再任用での雇用が確保されたと判断しているが、「年齢構成の適正化を図る観点」等で短時間勤務の職とできることとなっている。このことを理由に、当局から事実上短時間勤務を強要される危惧がある。この点に対する捉え方をお聞きしたい。

●本部答弁 染書記長

住民・議員に 自治研で訴えよう



車付雇上の問題は、重要な課題と認識しているが、一筋縄ではいかない。雇上会社と我々との関係。東京都時代から直営の補完的な役割をしてきた。非正規労働者、車付雇上が拡大していくということになると、覚書の反故に繋がりがかねない問題になる。東環保、雇上会社と意見交換をしなから、車付雇上を業界も含めてどのようにとらまえていくのかを東京清掃労働組合として議論していかねばいけない。この間、何もしてこなかったというわけではない。自治労公共サービス清掃労組との意見交換、不定期でやらせていただいているし、廃棄物研究会のなかでも雇上契約、偽装請負などを議論している。何百名を超える作業員が働いていますが、社会保障、厚生年金、雇用保険の適用とされず、国民年金機構からは三法の適用の指導が入っている、安定した清掃事業のためにこそ是正を関係機関に働きかけるべきと思うがどうか」と。これに

対し環境部長は「永年にわ



たり労働者供給事業に雇用されている労働者が日雇い扱いされていることは認識をしております。すでに当区からは、23区の清掃事業の契約元である東京23区清掃協議会にその実態を説明し、労働者の要望をお伝えしたところでございます。

ご質問のとおり、日本年金機構では清掃事業社の一部に対し、雇用条件の改善にむけた指導を行ったと聞いていますので、その動向を注視してまいります。」注視していくということだけで具体的な答えはいたしません。各区に推薦議員がいます。自民党議員と話をしてほしいと思う。こういった

区長が、その区は定期的に新規採用をしている区だが、だから新規採用をしなればいけないのですよ、議員」と堂々と言えたというのを聞いた。我々がどういう仕事をしているのか。ふれあい指導を含めて、非常に天気の良い雨具を着て仕事をしていることによって街の衛生的な生活環境が保たれていることを自信と誇りを持ってもらいたい。直営の優位性、質の高さをアピールする自治研活動をやっている。民間に任せればいい、委託すればいいと、車付雇上の劣悪な労働条件はどうでもいいという世界に入ってしまう。自治研活動を新年度しっかりと取り組んでいきたい。運動方針の方でも議論いただきたい。

この回答を引き出す取り組みを行っています。都市清掃の果たす役割は大きいと私自身も思っていて、事務局長をやらせていただいている。局長会議、全都清、自治労との関係、廃棄物研究会を含めて東京が中心にならざるを得ない。負担が大きいのではないかとというのは、東京の課題というより全体の課題です。単組の書記長という立場で私自身もしんどいのも事実です。他の都市との負担の分配も含めて、都市清掃全体の課題として議論をしている。

高齡期雇用問題、統一交渉で確認したのは、現行制度を基本とする”こと。これが一番のポイントだと確認いただいて、後は各区のやり取りにならざるを得ない。今現在各区でどういうやり取りがされているのか、逐一、判断、主張して欲しいことが中央執行委員会で報告されている。23区の統一交渉で確認する文書は、23区全体がこれだったらいけないものでないかと確認できない。ハッキリ言えと、こちらは求めているが、それは厳しいと”原則として”とか”基本として”といったお役所的な文言が入った統一交渉の確認ということにならざるを得ない。

各区段階で、区側がどう考えているのか報告をいただいたうえで、各区の人員の関係で最終的には個別の判断も出てくると思うが、単組ですから区によってのバラつきは避け、基本的に23区同じような条件で最終的に確認するというのが東京清掃として当然のことだと思います。各区事項も含めて、各区の交渉状況、区の考え方等、逐一報告いただければと思う。

区間交流の件、あらためて確認し中央委員会等に報告する。自治法派遣による区間交流は現業職員が対象外だった。これが現業も対象と改正された。

オルグ、確かに入りきれない。呼んでいただければ私自身はいつでも行くつもりだ。受け入れる体勢、支部の号令のもとで多くの組合員が結集するなかで本部の話聞く。そして本部がそこに足を運ぶという体勢を作っていく。東京清掃全体の課題として、本部、地連、支部、きちんとした意思統一のうえで、オルグの持つ意味、非常に大きなものがあるので、是非お願いしたい。

遺児育成資金のお礼。まさに23区を貫く労働組合として、扶助の精神、わが組合ができる非常に大きな取り組みです。

廃棄物研究会のこと。会員になっていて毎年安くない会費を払っている。廃棄物行政はまさに自治の課題だ。東京自治研センターとしても、廃棄物について取り組んで欲しいとこちらからのリクエストに答えて、廃棄物研究会が立ち上がった。外部の専門の方、自治総研のジョンさんにも入っている。車付雇上が拡大し、いわゆる大変な現場を彼らにやらせて、自分たちが楽できるから車付雇上いいじゃないかと流れかねない。それだど質の高い公共事業は実現できない。大変な現場こそ直営でやるのだとの心構えで、一般組合員の本工意識からの脱却、教育、支部の役員、本部の役員の意識を変え、彼らは敵ではないということ、制度そのものに問題があるので、社会的な労働運動を取り組んでいく。

本庁支部、一組総支部の建て直し含めての意見、受け止めていただいて、本部だけでなく一組総支部、本庁支部の皆さんと相談しながらやっていく課題だと思っている。本部としては、一組総支部、着するしかない。

大田工場、設備管理職員が配置されない、行政職のみになった。非常に由々しい問題だと思っている。全体で納得のいく内容で決着するしかない。

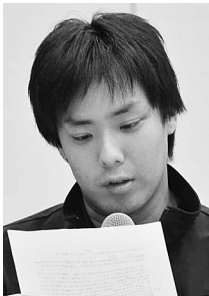


●本部答弁 森田 現業部長
法令遵守で 偽装請負とさせず

夫、何%まではオーケーという方針を出すわけにはいかない。実際に導入しない区があって、それを止めて新規採用を行なっている区がある以上、明言はできないということだ。車付雇上方針が出せない理由がある。車付雇上を導入しないというが、まず新規採用がないということ、欠員から導入されているので、これについては各支部で闘ってい

いていく。本部から区長 ども、東京清掃として対応を

●板橋東支部 石川代議員
全区で新採獲得へ 青年部は闘う



ぶりに新入組合員歓迎会を行った。

全区で新規採用を勝ち取るまで、青年部も要請行動などで直接声をぶつけていきたい。22日の定期大会で方針を確立し、歴史と伝統のある青年部組織と結集する仲間を大切に、これからも全力でがんばっていく。

●中野支部 藤田代議員
差別との闘い 本部が先頭に



差別落書き事件もあり、支部としては差別問題に取り組んできた。しかし、清掃労働者に対する差別はいまだに各所で発生している。

事業関係の統一交渉項を求める闘いについて質問する。この間の総括はどうなっているのか。今後、課長会との意見交換の場を使って交渉項目を増やすことができるのか。追加を求める項目は具体的にどう考えているのか。

2002年の差別落書き事件、2011年のごみ袋い。

●本部答弁 大和田副委員長
ひとりをみんなで守る 組織で運動を

組織強化の問題、役員のか。また組合に入ってくれな手がないのは何故な

腹の内はなかなか見えてこない。事の本質をあらためて聞き出すといった取り組みが必要だ。行政職の方が希望の持てるビジョンについて、どういったことが可能なのか、一組総支部と相談しながらやっていきたい。

放射能、水銀、ダイオキシン、工場での様々な問題についても、健康診断などの要望を含めて、十分に意見交換をして必要な取り組みをする。各区の予算要求で不適正搬入を防ぐことは求めている。分別基準の統一化などもこれまで以上に強く求めていく。

原発の廃炉に関する表現は、今後慎重にしていきたい。

主任選考は、行政職と現業職では大きく違う。この間、統一交渉のなかでも任用制度を含めた人事制度の抜本的改善を要求している。資格があれば全員昇任させろということだ。少しずつ改善してきたがまだ不十分なので、粘り強く求めていきたい。

青年部が増えた。作業計画の基本的考え方に關する本部と各区の交渉の際の話でも、新規採用があると職場が活性化すると課長も認めている。今年度は全区で

一斉に統一の新規採用要求をした。青年部が将来に希望を持てるようにしっかりと勝ち取っていききたい。

事業関係の統一交渉項目について、残念ながら増やすには至っていない。本部交渉のあり方の変更について清掃主管課長と詰めていたが、今年度は多くの課長が交代してしまい、振り出しに戻ってしまった。分別基準の統一化なども訴えているが、課長会としては判断できない構造となっており、現状は入り口から進んでいない。

求める項目は、現在でもすでに23区共通なものだ。例えば年間作業日や車両架装基準などがあり、当局も反対する理由がない。ただし、各区は実態が同じでも、「統一」ということにアレルギーがある。

差別の問題では、本部の取り組みが必ずしも十分ではなかった。清掃差別、部落差別、様々残っている。出された意見を踏まえ検討を加え、方向性を出していきたい。

職場オルグ、確かにできていない。春闘期に限らず、定期に限らず、様々な問題が起きている。職場からの要望を出していただき、担当中執だけでなく担当常任も入るので、積極的に求めていただきたい。

一組の脱退者、たしかに

組合員でもなくとも勝ち取ったものが適用される。しかし、あらためて組織を考えて欲しい。先ほど、遺児育英資金のお礼もあったが、助け合おうのが組織である。公務災害認定闘争で言えば、最高裁まで行けば莫大なお

●北支部 花島代議員

車付雇上 中央執行委員会でフォローを

新規採用、支部だけではやりきれない。職場オルグを含めてお願いしたい。

高齢期雇用について、再任用は各区事項といえども、差がついてはいけないと考えている。2年後の年金一元化も踏まえて賃金水準が出てくるのではないかと

車付雇上の問題で、現業部長から具体的な方針出せないと言われたが、支部としてもやるが、関係所管にかけあうなどしていただき、中央執行委員会で指導とかフォローとかいただきたい。

多岐にわたる方針、しかし、一つでも二つでもいいから解決してもらわないと絵に描いたもちになる。本部・地連・支部が一体となった労働運動の構築をお願いしたい。

●江戸川工場支部 中里代議員

新たな組織化に 本部がアドバイス

組織問題について一組総支部と十分話しあつてという答弁だったが、二つ伝えたいことがある。一つは今後、行政系職員が組織の大半になってくるということ

は突破口であり要となる。

金がかかり、とても個人では闘えない。普段はこうしたメリットが見えづらいたが、一人をみんなで守るのが労働組合だ。こうしたことも踏まえて組織運動を進めていただきたいし、本部としても精一杯がんばる。

都市清掃、全労協について、方針でも必要かどうかについている。区長会の水面下の交渉など、委員長・書記長でないといけないことも

あると思う。そうことも含めて執行委員会での情報提供等々取り組んでいただい

のために動いていただけるようお願いしたい。

多岐にわたる方針、しかし、一つでも二つでもいいから解決してもらわないと絵に描いたもちになる。本部・地連・支部が一体となった労働運動の構築をお願いしたい。

こぎつけたのに、残念ながら全員を組織化できていない。非常に悔しく思っている。採用に至る経緯はもちろん本人達に伝えているが、おそらく周りの非組や

●本部答弁 大和田副委員長
単組の力を活かし 各区交渉へ

組織問題、中里代議員からの話を踏まえて、良い方向に進めていきたいと思う。花島代議員の質問。各中執を通じて各支部で交渉し、取り組みを活かすシステムになっている。単組から、必要な情報を本部が把握しているのは当然だし、担当中執が他の区の取り組みを自分の区で活かしている。こうしたことを有効に活用し、各支部で交渉を進めていただきたい。

高齢期雇用問題、根幹部分は統一交渉で確認した。年齢構成の適正化は清掃に当てはまる心配はないのではないかと。現行でも各区によって運用の違いが若干ある。情報を本部にあげていただき、全体で共有し、全区が同じような労働条件になるよう取り組む。

運動方針だから、きちんとやっていただければいい。都市清掃も全労協も必要ならば必要でいいが、内輪のこともしっかりとやってほしい。車付雇上、たしかに難しい。しかし取り組みに難くないとストoppでもらわれないとストppできない。難しいけど取り組みのための運動方針だと思う。情報を本部にあげていただき、全体で共有し、全区が同じような労働条件になるよう取り組む。

●本部答弁 大和田副委員長
しっかりと取り組む

しっかりと取り組む

しっかりと取り組んでいく。

2014年度会計予算(案)に対する質疑

●北支部 花島代議員
是正を求められる 支部交付金格差

支部交付金はかなり格差がある。財政部長も今後、

二組の方の影響が大きいのだと思う。このことをお伝えして、今後我々も本部の直営部隊がいて良かったと言う課長もいる。やっぱり直営でなければだめだということ、当局と住民に伝えていかなければなら

都市清掃、全労協は、方針にうたったとおり。機関紙や報告は各区中執を通じて支部での取り組みに活かしていきたい。

●北支部 花島代議員
高齢期雇用 フィードバックが必要

運動方針だから、きちんとやっていただければいい。都市清掃も全労協も必要ならば必要でいいが、内輪のこともしっかりとやってほしい。車付雇上、たしかに難しい。しかし取り組みに難くないとストoppでもらわれないとストppできない。難しいけど取り組みのための運動方針だと思う。情報を本部にあげていただき、全体で共有し、全区が同じような労働条件になるよう取り組む。

運動方針だから、きちんとやっていただければいい。都市清掃も全労協も必要ならば必要でいいが、内輪のこともしっかりとやってほしい。車付雇上、たしかに難しい。しかし取り組みに難くないとストoppでもらわれないとストppできない。難しいけど取り組みのための運動方針だと思う。情報を本部にあげていただき、全体で共有し、全区が同じような労働条件になるよう取り組む。

組織財政方針の議論に関するなかで是正をしていただきたいと思う。

憲法改悪を阻止し、平和憲法を守る決議

安倍政権は、戦争放棄を規定した憲法9条を変え“国防軍”を設置し、日本を“戦争のできる国”にして国民の生命を投げ出そうとしている。歴史問題について内外から強い批判を浴びても意に介さないばかりか、ナチス政権を引き合いに「手口を学んだらどうか」などと国家に国民を隷属させる国づくりを目論んでいる。これは、軍事によって国民を統制し、再び膨大な権力や利権を得ようとする政治家や権力者たちの念願であり、軍需産業によって利益を生み出そうとする財界の思いとも重なる。

改憲派は、いきなり9条を変えることは困難とみて、まず憲法改正の手続きを定めた96条を変えることとし、改定規定を衆参両院議員の「3分の2」から「過半数」の賛成で発議できるように変更しようとしている。これが実施されれば、憲法改正が一般の法改正と同じように発議できることとなり、権力の歯止めとしての用をなさないこととなる。権力者は常に墮落する危険があるからこそ国民が深く納得した憲法で権力を抑えるのが立憲主義である。したがって憲法が簡単に改正できるようにさせてはならず、それは先進国で憲法改正をしやすくするために手続きを変えた国がないことから明らかだ。

さらに安倍政権は、「集団的自衛権」の行使に向けて憲法解釈を変えようとしている。これまで内閣法制局は「国際法上保有はしているが、憲法9条で許される実力行使の範囲を超えるため、行使できない」との見解を示し、海外での自衛隊の武力行使に歯止めをかけてきた。しかし安倍首相は、内閣法制長官の首をすげ替えるといったなりふり構わぬ手法を用いて憲法解釈を変え、行使を可能にしようとしている。戦争放棄を貫いてきたこの国の形を、解釈変更で強行しようすることは憲法を踏みじめる行為であり、断じて許されるものではない。

9条は単に日本のためだけの憲法条文ではない。軍事費を減らし、紛争予防を進め、非核兵器地帯を広げ、平和への人権を認めることなど国際平和へと繋がるものなのだ。そして世界で唯一の被爆国である日本には、全世界に平和を訴える責任がある。戦争の教訓を次世代の子どもたちに負の遺産として伝えていかなければならない。

わが組合は、平和を破壊する“戦争のできる国づくり”を許さず、国際協調、軍縮・反安保、脱原発を掲げ、平和・人権・環境を重視する政策実現に向け積極的に取り組んできた。引き続き、子どもたちを戦争から守り、安心して生活することのできる平和な社会をつくるために、憲法改悪を阻止し、平和憲法を守る闘いを、組織の総力をあげて進めなければならない。

以上、決議する

2013年9月29日
東京清掃労働組合第82回定期大会

大会宣言

私たちはここに第82回定期大会を開き、真摯な総括と方針討議をもとに「2014年度運動方針」を決定した。

本年7月に実施された参議院選挙において参議院第一党となり、衆参両院で絶対多数を確保した自民党安倍政権は、戦後60年以上護ってきた平和憲法を放棄し、国民を戦場へ送り出す軍事国家への道を突き進もうとしている。

経済政策では、デフレからの脱却を掲げ、大胆な金融政策、機動的な財政出動、長期的な成長戦略を三本の矢とする政策を強行している。この「アベノミクス」と称される経済政策は、一部の大企業、投資家の儲けを優先し労働者の権利を奪い、弱者を切り捨て、格差を拡大する悪政である。国民の生活を崩壊させ、多国籍企業の利益を優先するTPPへの参加など、危険極まりない安倍政権によって今まさに労働者の生命と権利が奪われようとしている。すべての労働者が生命と権利を守るために一丸となって闘いを進めなければならない。

8月8日人事院は、月例給と一時金の改定なしとする報告を行った。昨年の人事院勧告は月例給及び一時金の据え置きによる改定なしの勧告であったが、区人事委員会は月例給マイナス0.19%の勧告を行った。首都圏における生活実態を踏まえた給与水準の改定を区人事委員会は勧告するべきである。

雇用と年金の接続については3月26日の閣議決定で「給与制度上の措置については、必要な検討を人事院に要請する」とされたことから今回の人事院勧告が注目されたが、具体的な賃金水準の言及はされず先送りとされた。区長会は、雇用と年金の接続について、現行の再任用制度を基本とし、原則フルタイムで採用するとの考え方を示している。現行の再任用職の賃金水準は年金の一部支給を前提とした制度である。無年金期間の生活を保障する賃金水準を確立させなくてはならない。

東京23区の清掃事業は大都市のごみ処理を安全で安定的に運営する公共事業として、長い歴史と経験のなかで技術を蓄積し継承してきた。区移管以降、各区、一組はコスト優先の合理化を加速させ、統一性より独自性を強調してきた。派遣、車付雇上は拡大し「指導」のみを直営とする現場実態を無視した合理化や統一性のない分別基準は工場の安定操業の妨げにもなっている。住民生活に密着した公共性の極めて高い清掃事業を劣化させてはならない。各区・一組当局は責任を持って安定的かつ安心・安全な清掃事業の運営を図るべきである。

わが組合は、地公労法が適用される単一労働組合として、労働条件の向上を目指して区長会との闘いを展開するとともに、差別撤廃の運動、反原発の運動など社会的運動にも積極的に関わってきた。本大会で闘う方針は確認された。この方針の基に、より強まるであろう公務員攻撃や現業切捨てに屈することなく、労働組合としての自主性や自立性を確固たるものとし、単一の労働組合として東京清掃労働組合は力強く運動を進め、組織を確立するものである。

以上、大会の名において宣言する。

2013年9月29日
東京清掃労働組合第82回定期大会

第82回定期大会 ご来賓

- 自治労東京都本部
宮本委員長
- 自治労中央本部
牧野現業局長
- 都市清掃労働組合協議会
古川副議長
- 横浜清掃労働組合
高橋委員長
- 川崎市職員労働組合清掃支部
龍副副委員長
- 特別区職員労働組合連合会
佐藤書記長
- 全国労働組合連絡協議会
中岡事務局長
- 東京清掃労働組合退職者会
北条会長
- 東京清掃労働組合退職者会
庄司事務局長
- 東京清掃労働組合退職者会
戸枝会計

1期2年という短い間で



したが、お世話になりました。組織問題の解決を図るため職場に戻ります。支部から本部を支えるために今後がんばります。

中央執行委員 内山 健司（江東工場）

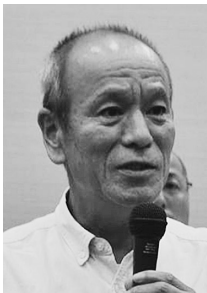
57回定期大会から中央執行委員になりました。当時の大会は100本にも上る修正案が出される大会でした。東京都清掃局の時代です。相手は東京都ひとつであり、内部の議論に集中できました。しかし区移管以降、相手は23区と一組と東京都に分かれ、当局との闘いには一

職場の皆さんとも酒を飲み交わし、仲良くさせていただきました。職場のみなさん、大会参加の各支部の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



中央執行委員 中村 正明（足立）

2000年に品川区から出てきて本部役員となり、5期10年中央執行委員、2期4年常任執行委員をさせ



ていただきました。今大会の議論を聞き、ますますがんばらなくてはとの思いを新たにしました。本部や支部の皆さんの暖かい励ましがあったからこそ、ここまで来ることができました。長い間本当にありがとうございました。

副中央執行委員長 山崎 英美（世田谷工場）

共闘部長 松本 稔（品川）

●中央執行委員退任のあいさつ

●新たな中央執行部のあいさつ

●中央執行委員長

吉田 壽



●副中央執行委員長

大和田功治



●組織部長

森田 裕二



●現業部長

坂本 浩明



●中央執行委員（台東）

黒河内 昭



●中央執行委員（足立）

赤沢 秀一



台東支部の黒河内です。

今回の中央執行委員就任が、支部執行部に上がってからの初めての役職になります。何もかもが初めての事ばかりですが、様々な業務をこなしていけるように頑張っていきたいと思っています。共に頑張りましょう。

足立支部出身の赤沢秀一です。足立区は他の区と比較しても厳しい区と認識しています。これから中央執行委員の一員として頑張っていきます。

●書記長

染 裕之



●共闘部長

斉藤 幸司



●教育宣伝部長

野崎 優三



●書記次長

桐田 達也



●賃金部長（台東）

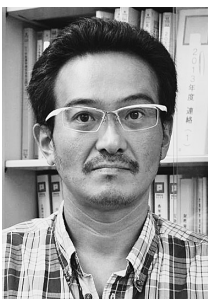
横須賀 博



：高所恐怖症です。飛行機、ダメ、絶対。

●中央執行委員（品川）

安藤 貴志



●中央執行委員（一組）

岸野 静男



一組総支部の岸野です。

みなさんはじめまして。

先の定期大会から、新しく品川区担当中央執行委員に選出されました、品川支部の安藤です。青年部時代は本部において様々な活動を取り組んできましたが、気持ち新たにチャレンジしていきたいと思っています。ともに頑張りましょう！

現場労働者の技術・技能を継承するためにも、直営作業が絶対に必要です。労使協議事項を守らせる労働組合としてがんばります。

飛び越えるハードルの高さをお互い感じているのではないのでしょうか。このハードルを乗り越えることは、全ての支部の仲間が力を出し切り、汗を流し闘ってこそできるのです。

賃金闘争に勝利し、職場からの要求実現のため、東京清掃労働組合の組合員は団結してがんばろう。

●副中央執行委員長

瀬瀬 朗



●財政部長

山崎 努



第82回定期大会より賃金部長に就任した横須賀です。我々、現業職において、現業差別とも言える07年賃金確定闘争での給料表の引き下げによる昇給抑制。調子の整頓の廃止や特殊勤務手当の見直しによる若年層の低水準化。さらに毎年の月例

要求実現のため、団結してがんばろう

東京清掃労働組合新執行部体制

●中央執行委員長

吉田 壽（練馬）

黒河内 昭（台東）

有田 孝保（文京）

●副中央執行委員長

瀬瀬 朗（墨田）

恵良 伸介（荒川）

●副中央執行委員長

大和田功治（渋谷）

安藤 貴志（品川）

●書記長

染 裕之（中野）

杉田 和彦（大田）

●書記次長

桐田 達也（文京）

三谷 満（世田谷）

●財政部長

山崎 努（江戸川）

洞下一浩（中野）

●組織部長

森田 裕二（港）

坂部 貴之（練馬）

●共闘部長

斉藤 幸司（墨田）

萩原 崇氏（板橋）

●賃金部長

横須賀 博（台東）

赤沢 秀一（足立）

●現業部長

坂本 浩明（世田谷）

渡辺 歩（葛飾）

●教宣部長

野崎 優三（板橋）

多田修一郎（江戸川）

●第一地連

張替 一茂（千代田）

岸野 静男（千歳工場）

●特別執行委員

藤波 武志（中央）

西村 好勝（多摩川工場）

●第二地連

倉貫 克志（新宿）

金子 雄一（自治労都本部副委員長）

●第三地連

泉田 和明（北）

綱川 恵子（女性部長）

長妻 芳典（青年部長）